

<総計欄> 9月の仕入量は159,106トン前月比+10.3%、前年同月比+3.8%、販売量は163,559トン前月比+11.3%、前年同月比+4.2%。前月比では仕入量・販売量とも著増、前年同月比では仕入量、販売量とも増加となりました。在庫量は223,191トン前月比-2.0%、前年同月比+10.2%、在庫量は前月比減少、前年同月比著増しました。在庫率は136.5ポイントと上昇しました。

9月の販売量は前年同月比では増加しましたが、ファブの人手不足等の影響もあり、大きな盛り上がりはなく推移しています。今後も需要、市況とも現状の横ばいで推移していくと思われます。

2022年度第2四半期の販売量は472,614トン、前期比3.6%減、前年同期比2.5%増。前期比では減少したものの前年同期比では増加しました。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼9.6%増加、東京11.2%著増、大阪5.3%増加、愛知16.3%著増しました。H形鋼は9.6%増加、東京22.4%著増、大阪0.7%微減、愛知13.2%著増しています。その他品種では山形鋼12.6%著増、溝形鋼14.5%著増、コラム27.9%著増、C形鋼11.3%著増しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼3.3%減少、東京3.0%減少、大阪7.0%減少、愛知2.1%減少しています。H形鋼は0.5%微減、東京0.2%微増、大阪1.3%増加、愛知7.5%減少しています。その他品種は山形鋼5.5%減少、溝形鋼1.5%減少、コラム0.1%微増、C形鋼3.3%減少となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移

